

道 徳 科

◎村田 茜 牧島 司 丸山 進一

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 道徳科における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと	イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとしたりすること
自分との関わりで物事を捉え、自己理解を深めていくこと	諸事情の背景にある多面性に着目し、様々な角度から統合的に考察すること	主体的な判断に基づき適切な行為を選択し、よりよく生きていこうとすること

4 道徳科における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説道徳編第 2 章第 2 節の道徳科の目標には、「道徳性の発達の出発点は、自分自身である」と同時に、現代的な諸課題に対応していくためには「多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考察することが求められる」と示されている。

これらのことを受け、本校道徳科では、一人一人が自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、道徳的心情を育むことが大切だと考えた。そこで、生徒が自己との関わりの中で見いだした問題から主題を設定し、1 単位時間の道徳の授業だけではなく、主題に関連する複数の内容項目からなる題材展開の中で、それぞれの道徳的価値の理解を深めながら主題を追求していく学習を構想する。

このような学習を積み重ねていくことで、新たな価値を創造できる資質・能力が育成され、「あさひのプロジェクト」においても、実生活や実社会の諸課題に対して自分と関わらせて考えたり、様々な立場の考えや事情を鑑みながら解決策を考えたりすることができる。

以上のことから、「学習指導要領」の具現と「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和 5 年度の道徳科の研究テーマを次のように設定した。

5 令和 5 年度 道徳科研究テーマ

道徳的諸価値についての理解を基に、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的心情を育むための学習の在り方

美術科

◎常田 浩二

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 美術科における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと	イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとする力
主題を基に対象を再度深く見つめたり、内面や本質を捉え直したりして考えること 意図に応じて様々な技能を応用したり、工夫を繰り返して自分の表現方法を見つけ出したりすること	客観的な視点を踏まえて感情にもたらず効果を理解したり、全体のイメージや文化的な視点で捉えることを理解したりすること	自分にしかない価値をつくりだし続ける意欲をもつこと 美術の表現や鑑賞に親しんだり、生活環境を美しく飾ったり構成したりするなどして、心潤う生活を創造しようとする力

4 美術科における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説美術編第 2 章 1 節の美術科の目標には、「今回の改訂では、造形的な視点を豊かにもって対象や事象を捉え、創造的に考えを巡らせる資質・能力の育成を重視している。」と示されている。

本校美術科では、表現及び鑑賞の学習において、生活や社会の中の対象や事象を捉える際、造形の要素とそこから感じたこととの関わりに着目して考えを巡らせることが大切であると考えている。そのためには、対象や事象から自分が感じたことを友と伝え合い、その根拠を話し合う活動を位置付ける必要があると考えた。このようにすることで、生活や社会の中のものの形や色彩、材料などの多様な造形の要素の働きからくるイメージや構成の美しさなどを捉え、自分としての意味や価値をもつことができると考えた。さらに、友の感じたことを聞き、互いの根拠を話し合うことで、新たな視点に気付くとともに、新たな考え方や感じ方を理解し、創造的に考えを巡らせる力を高めることにつながると考えた。

以上のことから、「学習指導要領」の具現と「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和 5 年度の美術科研究テーマを次のように設定した。

5 令和 5 年度 美術科研究テーマ

創造的に考えを巡らせる力を高める学習の在り方